



歯科医・彌勒寺寛之の 後悔しない 歯科治療の受け方

第4回 警告「海外にはまだ行くな～

②アジア、日本編

明けましておめでとうございます。本年も皆さまが歯科治療で決して後悔しないよう、色々お話しをさせていただきますので、宜しくお祈りします。さて、前回の続きですが、はじめに断っておくと、日本のように全ての国民が平等に、安価に、いつでも医療を受けられる制度は他国にはありません。もし日本の感覚で海外で歯科治療を受けると、まずその費用にびっくりするでしょう。ですから今、歯が悪い人はすぐに海外に行くのはやめて、日本で治療してから行きましょう。今回はアジア、そして日本の歯科事情をお伝えします。

アジア

●韓国

国民皆保険制度が1980年に導入されましたが、カバーされる範囲は狭く、自費治療になる場合が多いです。矯正や審美など、美容に関する歯科治療が盛んです。

また、父権主義（パターンリズム）と儒教の影響からか、患者さんよりも歯科医の方がはるかに立場が上です。

●シンガポール

公的医療保険制度はありません。歯科治療に対する決まった料金はありません。出来高払いによって支払います。予約診療が中心です。日本人歯科医師も日本語を話せる歯科医師もいます。

すべての学童は、定期的に歯科健診、治療及び健康教育を受けます。また、すべての地域の水道水にフッ素を入れています。そのため、虫歯は日本の半分以下です。

●香港

公的医療保険制度はなく、歯科医院によって治療費が異なります。自費治療のため治療費は高めですが、地域によって差があり、住宅地よりもセントラルやコーズウェイなど商業地のほうが治療費は高額です。

予約診療が中心です。治療費は現金かクレジットカードで支払います。英語が話せる歯科医師は多くいますが、日本語の話せる歯科医師はほとんどいません。衛生状態は衛生署によって厳しく管理されているため良好です。

すべての地域の水道水にフッ素を入れていることもあ

り、虫歯は日本よりも少ないです。

●タイ

公的医療保険制度はありません。タイは日本との関係が深い国で、日本の大学を卒業したり、日本で研修を受けた歯科医師もいます。バンコク市内には日本語を話せる歯科医師が多くいます。歯科医院のほとんどは予約制ですが、急患も随時受け付けています。

虫歯の有病率は日本より低いですが、歯周病は高い傾向にあります。

●インドネシア

公的医療保険制度はありません。外国人が通院するような歯科医院の治療レベルはそこそこですが、農村部などでは治療レベルがかなり低かったり、注射針の使い回しなど衛生状態が極めて悪い歯科医院もありますので注意しましょう。予約は外国人が通院するような歯科医院では必要です。

虫歯は日本に比べて断然多く、これは経済的な理由や歯科健康教育があまりおこなわれていないためです。虫歯を放置する人や、歯がないまま生活する人も多くいます。

●日本

国民皆保険制度のおかげで、世界的にみても圧倒的に安い治療費で歯科治療を受ける事ができます。しかしそれが原因で「痛くなったら歯医者に行く」という考え方が主流だったこともあり、予防に対する認識が薄く、歯科後進国と言われています。また、保険がきく治療法や材料は限られていて、その範囲はだんだん狭くなってきています。歯科医院の数はコンビニより多く（歯科医院約7万軒、コンビニ約4万軒）、開業歯科医師の5人に1人が年収300万のワーキングプアなど、二極化が進んでいるといわれています。

その他

世界一虫歯が少ない国：ガーナ（カカオを生産しているけれど、チョコレートは食べないからです）

世界一虫歯が多い国：ルーマニア

次回 良い歯医者の見分け方～7つのポイント（前編）



～著者プロフィール～

土沢デンタルクリニック院長 彌勒寺 寛之（みろくじ ひろゆき）1979年東京生まれ

住 所 宇都宮市本丸町11-12 T E L 028-634-5141 (URL) <http://tda86.com>

所属学会

日本口腔インプラント学会 日本歯科審美学会 日本歯周病学会

日本小児歯科学会 日本ヘルスケア歯科研究会

※学会で得た知識を活かして、個人的に無料相談室を開設しました。

お口のことで疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にご相談下さい。

当クリニックのホームページからメールで受け付けています。

（この無料相談室は予告なく終了することがありますので、ご了承下さい。）

